

めざす子ども像		文化の継承に努め、創造性に富む夢のある子ども			
学年・学期における探究課題		市の主要産業・身近な自然とそこに起きている環境問題			
単元名		『井原市を支える人々 ～井原市の環境・経済・観光～』（全30時間=実施時期：4月～1月）			
単元のねらい		井原市の施設見学を通して、市の産業への関心を高める。また、井原市には、産業発展の他に、環境保全に尽力している人々がいることにも気付き、これからの井原市の産業や環境を守るために自分たちにできることを考え、井原市を大切にしていこうとする気持ちを育む。			
		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		・前年度、高屋町のよさを発信したことを振り返り、今年度は井原市全体の魅力を見つけ、発信したいという思いをもつ。	・井原市の観光業や繊維産業について、見学を通して知る。 ・他教科とも関連させて、環境を守るために働いている人々がいることを知る。	・調べた情報を整理し、井原市のよさや環境を守るために自分たちにできることを考え、実践する。	・デニムの端材での商品開発に至った経緯をまとめ、商品とともに紹介する。
仕掛け・工夫	もの	美星天文台 中世夢が原 ジーンズ製品	○○○○	○○○○	○○○○
	ひと	○○○○	美星天文台の方から、美星町の方々が光害を防ぐために努力されていることを教えてもらう。	○○○○	○○○○
	しごと (こと)	○○○○	タカヤ商事の見学を通して、井原市で作られているジーンズの素晴らしさを知る。	○○○○	○○○○
	その他	○○○○	○○○○	○○○○	○○○○
引き出した姿	いばら愛 (郷土愛と当事者性)	○○○○	○○○○	井原市のよさを知るだけでなく、そのよさを守るために自分たちにできることを考えている。	○○○○
	やり抜く力 (向上心と忍耐力)	○○○○	○○○○	課題解決に向けて友達と協力して取り組むことができる。	○○○○
	まき込む力 (発信力と協働性)	○○○○	○○○○	デニムの端材を利用して商品開発するために、地域の会社に材料の提供を依頼する。	デニムの端材で作った商品を、地域の方の方に見ていただく。
アウトプットの工夫		お世話になった地域のデニム工場の方や保護者に向けて自分たちの学びの成果を発表する場を設定することで、児童の意欲を高めるとともに、地域の方々にも井原市の産業のよさを再確認してもらうとともに、環境保全について考える機会としてもらう。			

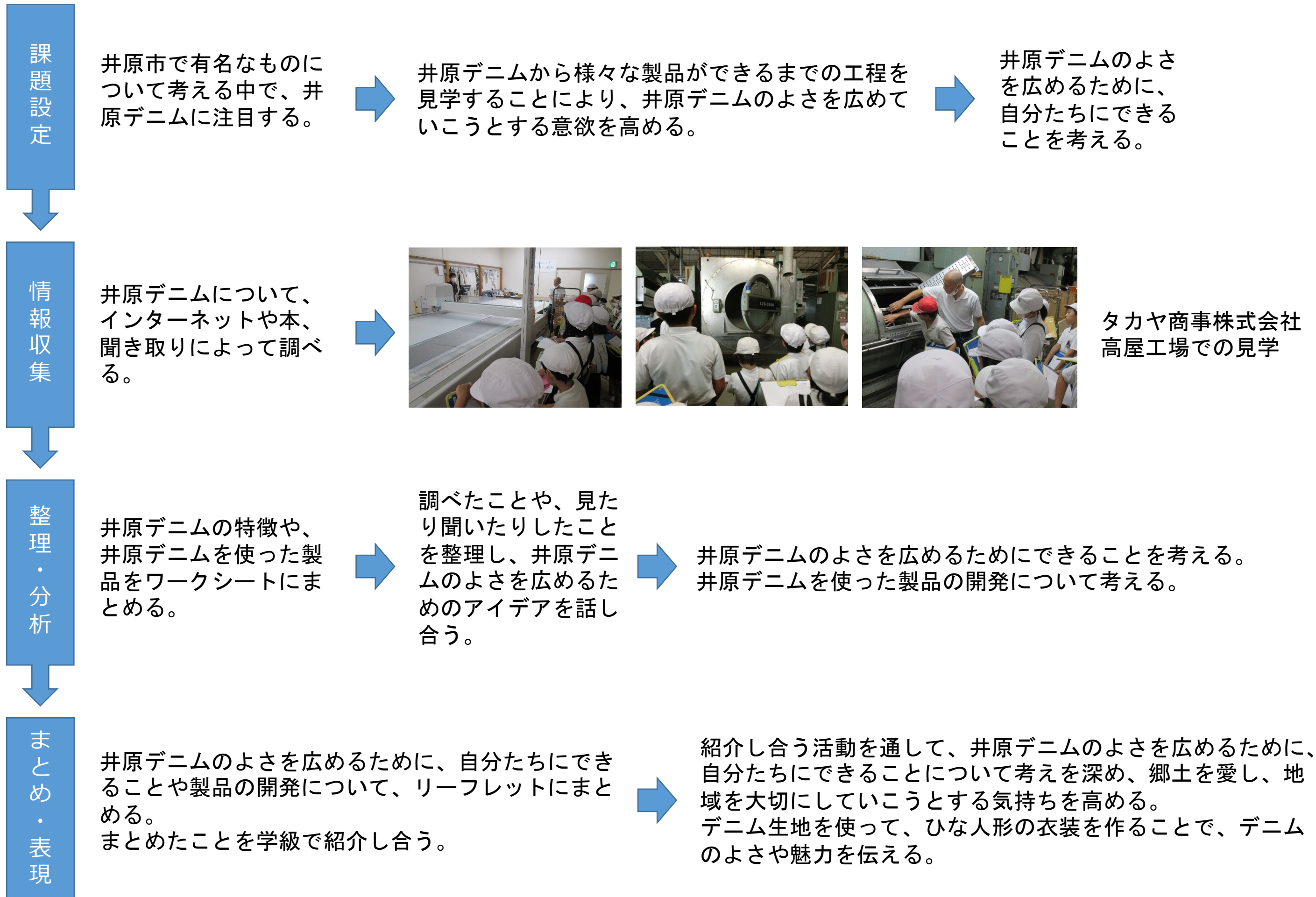
◆ 実際に関連付けた教科・領域、学校行事等

社会科	「ごみのしよりと活用」「くらしを支える水」「世界とつながる地域」
理科	「夏の星」
国語科	「新聞を作ろう」「短歌（書写）」
ふるさと井原魅力発見事業	

◆ 実際に連携・接続・交流した他学年、他校（園）種、外部団体等

3年生、クリーンサービス・イバラ、タカヤ商事株式会社高屋工場

◆単元のねらい「井原デニムについて調べ、地域でさかんなものよさを広げようとすることができる。」



◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 工場見学において、実際に見たり聞いたり触れたりすることで、井原デニムについての興味を深めることができた。
- デニムからどのような商品ができるのか、また、その過程や商品完成後の流れなど知ることができ、まとめへとつながられる。
- 井原の特産となるものがデニム以外にどのようなものがあるか、目を向けるきっかけとなった。
- これまでも井原のデニムは県内外に広まっているが、これからも広め続けていきたいという思いを抱くことができた。
- △デニム工場との関連企業等への現地での情報収集が難しい。
- ☆調べたことや学んだことを発信する場や機会をどのように確保すればよいか、検討していく必要がある。